

議案第 1 号

平成 24 年度 事業報告について

1 協議会開催状況

	開催年月日	内容（協議事項等）
第 1 回	H24. 11. 27（火）	[協議事項] ○呉市地域公共交通協議会決算について ○呉市地域公共交通協議会予算（案）について ○呉市地域公共交通調査検討業務について ○地域公共交通確保維持改善事業費補助金 （地域公共交通バリア解消促進等事業）について [報告事項] ○「呉広島空港線」の運行再開に向けた検討について
第 2 回	H25. 2. 22（金）	[協議事項] ○呉市地域公共交通協議会補正予算（案）について ○呉市地域公共交通調査検討業務について ○呉市地域公共交通協議会分科会の設置について ○安浦地区における生活バス事業計画の変更について
第 3 回	H25. 3. 27（水）	[協議事項] ○地域公共交通確保維持改善事業に係る事後評価について ○生活交通改善事業計画（案）について ○呉市地域公共交通調査検討業務について [報告事項] ○倉橋地区における生活バス運行ダイヤの変更について ○呉広島空港線運行実行委員会について

2 実施事業

(1) 呉市地域公共交通調査検討業務

事業内容：別紙「平成 24 年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価（地域公共交通調査事業）」を参照。

実施期間：平成 24 年 9 月 18 日～平成 25 年 3 月 29 日

委託事業者：株式会社バイタルリード広島支店

事業費：11,130,000 円（消費税込み、国補助事業（補助率：10/10））

3 その他

(1) 生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）の策定

通院や買い物等でバスを利用する高齢者や障害者等に利用しやすい環境を整備し、利用者の利便性向上及び利用促進等につなげるため、平成 25 年度において、呉市域におけるノンステップバスの計画的な導入を定めた「低床バス導入計画」を策定。

(2) 分科会「呉広島空港線運行実行委員会」の設立

呉市と広島空港とを結ぶ新たな交通アクセスとして運行するバス路線「呉広島空港線」の運行計画の検討、運行事業者への支援及び広報活動等に関する事項を協議する組織として、新たに「呉広島空港線運行実行委員会」を設立。

平成24年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 (地域公共交通調査事業) 呉市地域公共交通協議会



呉市の概要

- 平成15年4月 下蒲刈町と合併
- 平成16年4月 川尻町と合併
- 平成17年3月 音戸町、倉橋町、蒲刈町、安浦町、豊浜町及び豊町の6町と合併
- 人口 23万9973人 (H22年10月現在)
- 面積 353.86平方キロメートル

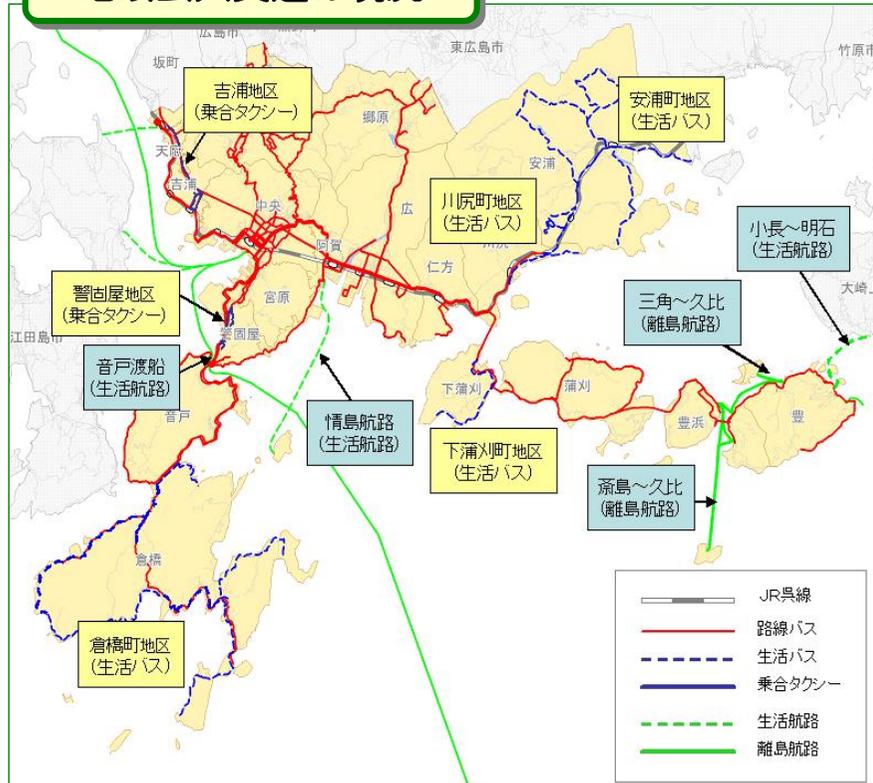
協議会の構成員

呉市 (社)広島県バス協会 広島電鉄(株) 瀬戸内産交(株)
 広島県タクシー協会呉支部 呉市自治会連合会 呉市老人クラブ連合会
 呉市女性連合会 呉市PTA連合会 私鉄中国地方労働組合広島電鉄支部
 国土交通省中国運輸局広島運輸支局 広島県 学識経験者 等

地域公共交通の現状

- ・鉄道：JR呉線
- ・航路：三角～久比航路、斎島～久比航路 他
- ・路線バス：広島電鉄(株)、瀬戸内産交(株)、中国JRバス(株)、さんようバス(株)
- ・生活バス：下蒲刈・倉橋・川尻・安浦の4地区で運行
- ・乗合タクシー：(有)なべタクシー、平和タクシー(株)
- ・高齢化率：29.3%

地域公共交通の現況



具体的な課題・問題点

- ・過疎化、高齢化への対応
- ・将来にわたり維持存続可能な公共交通体系の構築 (効率的、効果的なバス路線網への再編等)
- ・市民ニーズに即した利用促進策の検討
- ・待合施設整備をはじめとする乗継利便性の向上

調査事業の実施

調査事業の概要

- ・現況調査 (人口、高齢化、地形、公共交通の現状等)
- ・市民アンケート (市全域を対象)
- ・路線バスの利用状況調査・分析 (ICカードデータ及び乗降調査結果等を活用)
- ※上記に基づく現況把握と課題整理及び課題解決に向けた施策等を検討

平成24年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 (地域公共交通調査事業) 呉市地域公共交通協議会

協議会における検討

- 協議会の開催状況 3回開催
- 第1回(平成24年11月27日(火))
調査事業の概要説明
 - 第2回(平成25年 2月22日(金))
調査事業の中間報告
 - 第3回(平成25年 3月27日(水))
取りまとめ結果報告

地域住民の意見の反映

- 本年度12月に市内全域を対象に、公共交通に関するアンケート調査を実施
 - ・配布世帯数 8,093世帯
 - ・回収世帯数 4,995世帯 (回収率 約62%)
 - ・調査票サンプル 9,517枚 (1世帯あたり3枚の調査票を配布)

事業実施の適切性

- 事業が計画どおり適切に実施された。
 - ・平成25年度以降、地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)や地域内フィーダーシステムの導入等、生活交通ネットワーク計画の策定及び各事業の具現化に向けての必要な調査が実施できた。

調査事業の結果の概要

- (1) 市域全域を対象としたアンケート調査により、移動実態や潜在的な移動ニーズ等を把握することができた。
- (2) ICカードデータ等の分析により、市内各路線のより細かな利用状況等を把握することができた。
- (3) 上記(1)及び(2)の結果から、今後の公共交通の課題と課題解決に向けた検討の方向性及び具体的な施策等を導き出すことができた。

生活交通ネットワーク計画の計画策定に向けた方針等

・本調査事業の実施により導き出された、今後の公共交通の課題と課題解決に向けた検討の方向性等をもとに、平成25年度以降、地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)や、路線再編に伴う交通空白地域等への地域内フィーダーシステムの導入等、生活交通ネットワーク計画の策定及び各事業の具現化に向けての検討を進める。

効率的・効果的な移動サービスを安定的に提供することのできる公共交通体系の構築を目指す。



呉市都市型ゾーンバスシステム (イメージ図)

ゾーンバスシステムの実現に向けた施策(例)

① 乗り継ぎダイヤの整備 ○乗り継ぎがスムーズなダイヤ設定	② 市街地内路線のサービス充実 ○乗数の充実…一定区間での運行 ○ルートの充実…きめ細かな運行 ○一律料金の設定…例)500円
③ 乗継割引制度の導入 ○乗り継いででも割高にならない料金設定	④ 低床車両の導入 ○高齢者でも乗り降りしやすい低床車両の導入
⑤ バス停・待合環境の整備 ○乗降・待合が容易な環境整備	乗り継ぎ割引 乗継割引 乗継割引 乗継割引